

糸満市地域公共交通会議 平成29年度第2回会議 議事録

【開催日時】:平成 29 年 12 月 8 日(金)13:30～15:30

【開催場所】:糸満市役所 3-C 会議室

【出席者】:24 名(別紙1 糸満市地域公共交通会議委員 名簿)

議事 1. 地域観光交通試験運行計画(案)について

■回数券及び運賃区分について

【大城会長】今回導入を予定している回数券は払い戻しを予定しているのか。10枚の値段で12枚使用できることとなっているが、サービス分の2枚だけ使用して、10枚分の払い戻しを請求した場合はどうなるのか。

【事務局】払い戻し請求があった場合は、対応する予定である。ご指摘のような請求事例があった場合に、不合理な事とならないよう、検討させて顶きたい。

【慶田委員】資料 3-2 では国吉線の廃止が説明されているが、国吉線の路線を代替する新たな路線定期運行の運行業務受託者はどちらになるのか。

【事務局】試験運行の運行業務受託者及び予約受付業務受託者を選定するため、プロポーザルによる提案を11月に受付した。選考の結果、運行業務受託者は有限会社美ら島様に決定した。国吉線の代替となる路線定期運行についても、同社が運行することとなる。

【慶田委員】回数券の販売場所を教えてください。また、運転免許返納者割引を65歳以上に設定した理由を伺いたい。県内の路線バスの場合、年齢制限はされていない。

【事務局】回数券は車内での販売と、試験運行業務受託者営業所での販売を想定している。また、運転免許返納者割引の対象については、利用者の混乱をさけるため、デマンド運行と同じ運賃区分を採用した。デマンド運行の運賃区分は、平成28年まで実施していたデマンド運行の区分を踏襲した。運賃区分の検討については、平成26年に新しい公共交通検討事業の委員会審議内容にて、他市町村のコミュニティバスやデマンドバスの割引体系を参考に設定した経緯がある。

【慶田委員】市が免許返納者への割引を65歳以上に設定したことに異論は無いが、免許返納者は年齢に関わらず、公共交通が主な移動手段となることから、意見を述べた。

【事務局】免許返納者割引の年齢の基準について、試験運行の中で検討していきたい。

【小橋川委員】既存路線バスの運賃区分では、障がい者割引のほかに養護施設に入居されている方に対しても割引をしている。なお、既存路線バスの運賃区分では、中学生以上が大人区分になっていることに対し、試験運行の路線定期運賃区分では高校生以上が大人区分となっている。利用者視点で見るとサービス向上となるが、仮に南部循環線のニーズ(利用者)が流れてきた場合は、10人定員のワゴン車両では対応が難しくなるというリスクも存在している。サービスを大きくする際には、ニーズ受け入れとのバランスを十分に考慮する必要がある。また、県内バス事業者が回数券を販売していた際、実際に支払う運賃を上回る回数券が提示されても、お釣りは出していなかったが、今回発行する回数券はどのように取り扱うのか。

【事務局】ご意見があった、県内バス事業者の過去の対応を基本に、運行開始までに検討したい。

■路線定期運行について

【屋嘉比委員】路線定期運行のダイヤについて、子供たちの朝の登校時間をカバーする時間は運行しているが、夕方下校時は運行しないのか。

【事務局】帰宅時は、夕方 5 時まで運行するデマンド運行のご利用して頂きたい。

■糸満市内における公共交通の利便性について

【山城委員】これまでの検討時、市民（特に子供たち）のバス利用促進の視点についてどのような検討がなされたか教えて頂きたい。

【事務局】平成 27 年及び 28 年の実験時は、車内及び糸満市内全世帯アンケートを実施し、市民の利用ニーズを把握した上で、検討を進めてきた。また、資料 3-2 の参考資料で掲載している国吉線の利用現況のように、既存路線バスの利用者が減ってきていることから、市内の公共交通のあり方が見直されてきた。しかし、国吉線で高嶺小学校に通学している児童もいることから、試験運行では通学利用しやすい国吉線の便を代替する予定である。

【山城委員】新聞報道等で、最近県内のバス利用者が増えているという印象を受けるが、想定される要因はなにか。

【小橋川委員】近年、わったーバス党の活動や社会の目が公共交通の利用促進に向いていることや、ＩＣカードの導入といったサービスの向上の効果だと思われる。また、路線の便数が多い地域ほど、サービス実施の効果が大きい。

【山城委員】今回の市内の公共交通再編では、利用者が少ないことが理由として、南部循環線が減便されるが、過疎地域をさらに不便にする要因とはならないか。

【事務局】便数は確かに減るが、資料 3-2 の最後の頁で示しているように、再編後は市内の公共交通空白地域が減ることに加え、朝 9 時～夕方 5 時までは移動したい時間に移動したい場所へ自由に往来することができるようになる為、市内の移動利便性は向上すると考えている。

【屋富祖委員】数年前に他の会議の場で、糸満市が過去取り組んでいた毎月 1 日と 20 日の「ノーマイカーデー」復活を提案した事がある。子供から大人まで、マイカーを使わないことで、健康増進、公共交通の活性化、環境負荷の低減といった効果が望める。

2. 糸満市公共交通の再編（案）について

■再編後の運行経費について

【慶田委員】資料 3-2 では、これまで負担してきた補助額が掲載されているが、再編後の運行経費は補助額よりも安くなるのか。

【事務局】南部循環線は平成 28 年度には約 2,700 万円を負担していたが、再編後の経費負担は約半分になればと期待している。また、国吉線は平成 28 年度には約 200 万円を負担しているが、再編後は代替路線の定期運行に加え、新たにデマンド運行を導入することから、定期・デマンド合わせて運行のみで約 1,900 万円になる予定である。

■ブーゲンビレア号の市内公共交通への影響について

【慶田委員】糸満市では、数年前から市内事業者の施設利用者のための送迎バスに乗車できる高齢者向けの無料サービス「ブーゲンビレア号」を実施していると思うが、今後導入するデマンド運行への影響はどのように考えているか。

【事務局】ブーゲンビレア号の利用者は年間約 1 万 5 千人だが、路線バスやデマンド運行への影響は調査していない。今後、試験運行を通して双方の影響について、調査検討していきたい。

■予約受付システムの費用効果について

【山城委員】デマンド運行の経費について、オンデマンド運行をするための予約受付システム利用料はサービス水準に比べて大きな負担となっていないか。現行のシステム利用料を削減し、人手による予約管理に変更することで、運行時間を延ばすコストに費用転換できないか。

【玉城委員】実験時に予約受付業務を管理していたが、人手によるデマンド運行の予約管理は大変厳しい作業と思われる。現行のシステムは、一人のオペレーターの年間人件費よりも安く済んでいる。加えて、約 160 箇所あるバス停の最短配車時間の算出や乗合組み合わせ等を瞬時に行うことができるため、デマンド運行には必要なシステムであると思われる。

■本会議での承認事項について

【大城会長】本日審議頂いた、資料 3-1「地域観光交通試験運行計画（案）」及び資料 3-2「糸満市公共交通の再編（案）」について、事務局案を承認として宜しいか。

【事務局】ただし、資料 3-2 で示した南部循環線の減便のダイヤについては、この案を基本としてバス会社と調整し、決定したい。

【委員一同】異議なし。



写真：会議開催状況

■糸満市地域公共交通会議委員 名簿

	出席	シメイ 氏名	区分	所属	役職	備考
1	○	オオシロ イクヒロ 大城 郁寛(会長)	学識経験	琉球大学法文学	教授	
2	○	シマダ カツヤ 島田 勝也(副会長)	学識経験	沖縄大学地域研究 所	特別研究員	
3	○	コバシガワ トモ タカ 小橋川 共隆	一般乗合旅客自動車運送事業者 及び その団体	株式会社琉球バ ス 交通	統計課課長	
4	○	シロシマ シゲル 城島 繁	一般乗用旅客自動車運送事業者 及び その団体	糸満タクシー合 名 会社	運行管理者	
5	○	ケイダ ヨシハル 慶田 佳春	一般乗合旅客自動車運送事業者 及び その団体	一般社団法人沖縄 県バス協会	専務理事	
6	○	ナカザト タカシ 仲里 隆	一般貸切旅客自動車運送事業者 及び その団体	有限会社美ら島	代表取締役	
7		ゲンカ コウジ 源河 浩次	一般貸切旅客自動車運送事業者 及び その団体	結株式会社	代表取締役社	
8		ウエズ アラタ 上江洲 新	一般乗合旅客自動車運送事業者 の事 業用自動車の運転者が組 織する団体	沖交労・琉球バ ス 組合	執行委員	
9	○	ヤカビ ヤスヒト 屋嘉比 康人	地域代表者	真栄里自治会会	糸満市区長会 会長	
10	○	タマキ ヨシハル 玉城 善治	地域代表者	真壁自治会	会長	
11		トクモト コウシン 徳元 孝進	地域代表者	糸満市老人クラ ブ 連合会代表	糸満市社会福 祉協議会会長	
12	○	ヤフソ タミエ 屋富祖 民江	地域代表者	糸満市女性連合	代表	
13	○	ヤマシロ ワタル 山城 渉	地域代表者	三和中学校PTA	会長	
14	○	タマシロ イサオ 玉城 勲	観光関係者	糸満市観光協会	事務局長	
15	○	コヤナギ ミエコ 小柳 美枝子	運輸支局	沖縄総合事務局	運輸部企画室 長	代理出席： 伊志嶺室長補佐
16	○	ニシクラ ヒロシ 西倉 浩	運輸支局	沖縄総合事務局	運輸部陸上交 通課長	
17	○	シモジ ヒロアキ 下地 博明	道路管理者	沖縄総合事務局	南部国道事務 所副所長	
18		ソナン ツトム 楚南 力	都道府県警察	沖縄県 糸満警 察署	交通課長	
19		ザヤス オサム 座安 治	地方公共団体	沖縄県 企画部	交通政策課長	
20	○	キンジョウ ヤスシ 金城 靖	地方公共団体	糸満市	副市長	
21	○	トクザト ヒロシ 徳里 仁	地方公共団体・道路管理者	糸満市	建設部長	
22	○	アハゴン ヨウシン 阿波根 庸伸	地方公共団体	糸満市	市民健康部長	
23	○	ウエハラ ヒロシ 上原 仁	地方公共団体	糸満市	企画開発部長	

事務局		
1	上原 和隆	糸満市企画開発部 政策推進課 課長
2	伊集 親洋	糸満市企画開発部 政策推進課 主幹
3	新垣 祐滋	糸満市企画開発部 政策推進課
4	玉城 喜章	沖縄しまたて協会
5	上間 淳也	沖縄しまたて協会
6	豊里 博輝	沖縄しまたて協会
	計 6 名	

傍聴人		
1		
2		
3		
	計 名	